

今すぐご自宅のストーブやボイラーの 給排気筒を確認してください！

札幌市内では、冬型の気圧配置となり上空に寒気が流れ込んでいる影響で、24時間の降雪量が過去最多を記録しました(2月6日現在)。そのため、ストーブやボイラーの給排気筒が雪で埋まってしまい、不完全燃焼を起こすなどの出動事案が発生しています。

■ 給排気筒が雪で埋まるとどうなるの？

給排気筒が雪に埋もれた状態で使用すると、「**排気ガス**」が室内に流入したり、「**不完全燃焼**」を起こす原因となり、死亡事故につながる危険性があります。



■ 不完全燃焼による一酸化炭素中毒とは？

ストーブやボイラーが不完全燃焼を起こすと一酸化炭素が発生します。一酸化炭素を含んだ空気を吸いこむと「**一酸化炭素中毒**」となり、大変危険です。一酸化炭素は**無色・無臭の気体**で、少量吸い込むだけでも**頭痛・吐き気**がみられ、さらに深刻な症状になると**意識や呼吸の障害**などを伴い、**死**に至ることがあるため、十分な注意が必要です。

■ 対策

<その1>

給排気筒の周辺は、こまめに除雪する！

<その2>

給排気筒を定期的に点検・確認する！

※ 給排気筒のほか、ストーブ・ボイラーに異常がある場合は、点検業者等に相談してください。

※このような場合は、給排気筒周囲の雪を取り除きましょう

